

バスケットボール部春季優勝

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2025年4月22日
第4号



「全道大会でも大きい声を出し、勝利を積み上げたい」と宮崎さん（中央）

4月19日、20日、バスケットボール部地区春季大会が開催され、本校は初戦で合同チーム（小樽潮陵、小樽明峰、小樽水産、倶知安）に96-25で勝利し、決勝で余市に82-28で勝利し、優勝した。

部長の宮崎由唯さん（3-3）は、「前よりもパス回しが速くなり、コーナリーの合わせもよくなった。今後シュート確率を上げ、試合の流れを自分たちの方に引き寄せたい」と語っている。



ふたばのトレードマークで笑顔の記念写真、前列中央が丸山璃恋さん

バレー部も19日、20日に地区春季大会が行われた。小樽未来創造・岩内（合同チーム）、小樽桜陽、小樽潮陵、倶知安の4チームと対戦し、いずれも2-0で勝利し、優勝した。

部長の丸山璃恋さん（3-4）は「1日目の合同チームと潮陵

バレー部春季大会優勝 全道に向けて好発進

戦はミスが多く、流れを持ってこれなかった。桜陽戦はサーブで流れを作ることができた。倶知安戦はサイドアウトができていた」と振り返った。

今後、「連続失点をなくし、上を目指せるように頑張りたい」と全道ベスト8以上を目標に、一層練習に励む覚悟だ。

心温まる交流 クルーズ船の観光案内



4月20日、本校の2・3年生（ボランティア部とドリゼミのグローバルカルチャー専攻の生徒）が小樽港に寄港したダイヤの観光案内をした。



トを配布した下瀬雅珠さんは「乗客の方々が片言の日本語で声をかけてくださり、楽しくできました」と、作田雪月さんは「『あなたの英語は上手だよ』と言ってくださる方が何人もいて、うれしかったです」と語った。

間宮さくらさん、長谷川心菜さんは観光案内のグレイドアップのために函館遺愛女子高校の視察に行き、今回は街まで観光案内した。今回で3回目の案内になる間宮さんは「歩きながら話ができる勉強になった。フィリピン、イギリス、アメリカなど国籍は様々だった」、服部梅さんは「Have a nice day. と声をかけると、You, too. と返してくれ、フレンドリーで優しかった。日本人の乗客も私たちの活動を褒めてくださり、温かった」と振り返った。